

令和4年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和5年6月28日

部課名 教育委員会文化財課

施設名	旧藤田家住宅(太宰治まなびの家)
施設の設置目的	弘前市の歴史や文化を伝え、もって市民の教養を高めるため
所在地	弘前市大字御幸町9番地35
指定管理者名	弘前ペンクラブ
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止していた事業を年度途中から再開しており、施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。また利用者が安心して施設を利用できるよう、施設内外の環境美化や維持管理に努めるなど、適正な管理運営を実施している。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>「太宰治まなびの家絵はがき」、「クリアファイル」の販売をしている。また、これまで開催した文学講座をまとめた書籍「太宰を語る」を発行・販売しており、太宰ライブラリーを館内に新たに設置した。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>利用者が安心して施設を利用できるよう、施設内外の点検項目を定め、施設の維持管理・安全管理を徹底しているほか、在駐の解説員による解説を実施している。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>施設内に常時アンケート用紙を設置し、利用者の意見・要望を把握するとともに、対応策を検討・対応している。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和4年度の来館者数は、2,940人となっており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているが、令和2年度及び令和3年度に比べると増加した。 (参考: 令和2年度 入館者数1,506人、令和3年度 入館者数1,578人)</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>計画的で安定した予算執行に努めており、適正に行われている。 年間の収支決算としてはほぼ均衡したものとなっている。</p>

7 実地調査の結果

施設が適切に管理・運営されており、業務も誠実に遂行されていることを確認した。

8 成果指標の達成度

入館者数:目標 4,160人(H28~R2の5年間の入館者数の平均値の1.1倍)
令和4年度実績:2,940人 達成度 70.67%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	年度後半から事業を徐々に復活させた。	計画した事業の着実な運営。
施設の管理	B	概ね適正に行われている。	教育委員会との連絡は密に。
経理の状況	B	概ね適正に行われている。	収支バランスは保たれている。
団体の財務状況	B	繰越金は過去最大となった。	会員拡大と創立30周年事業。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用者数は減少しているが、協定書・基準書等の内容に基づき、概ね適正に実施している。	引き続き利用者増を図るため、魅力ある事業の展開に期待する。
施設の管理	A	入館者が気持ちよく観覧できるように、施設の清掃や、冬期間の除雪等、適切に実施されている。	今後も適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	優良に管理されており、経費の削減に努めている。	今後も適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する